



## 令和2年11月末の特殊詐欺被害発生傾向（暫定値）

◇認知件数 **117件**（前年同期比+10件）

※ 預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、キャッシュカード詐欺盗、この3つの手口だけで、認知件数の85.5%を占めます。

◇被害額 **2億6,907万1,464円**（前年同期比+約5,814万円）

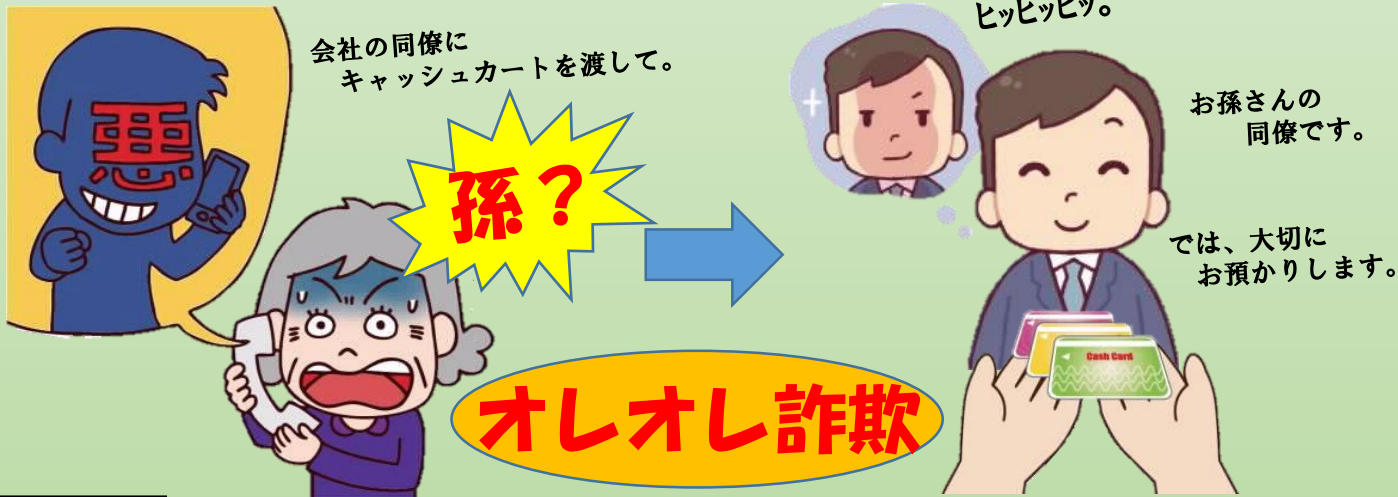
※ 1件あたりの被害額は299万円余りとなっています。

**県内** キャッシュカード狙いのオレオレ詐欺被害が発生！

**県内で、息子や孫をかたってキャッシュカードをだまし取るオレオレ詐欺の被害が発生しています。**

～ 犯人がかたるのは警察官や金融機関の職員だけではありません ～

急にお金が必要になって…。



### 事例

令和2年11月下旬、東信地方に住む高齢者宅に、孫やその孫の上司を名乗る者から電話があり「重要書類を誤郵送し、取引先に損害が生じた」「至急、現金が必要だ」「同僚にキャッシュカードを渡してほしい」などと言われたことから、被害者は自宅近くの路上で孫の同僚を装う男にキャッシュカード3枚を手渡し、だまし取られたもの。

**キャッシュカードは…他人に渡さない!**  
**暗証番号は教えない!**

